

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨地実習 (Clinical Internships)		
ナンバリングコード	S40342	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 総合レベル / 臨床検査学
単位数	11	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 臨床検査学コース 選択: 診療放射線学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S010251	クラス名	-
担当教員名	政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幹樹		
履修上の注意、 履修条件	臨地実習では予習・復習を必ず行うこと。 臨地実習指導者の指示に従い、提出物等の期日は厳守すること。		
教科書	臨床検査学演習、血液検査学実習、病理組織細胞検査学実習、一般検査学演習、寄生虫検査学実習、生体分析検査化学実習、病理解剖学実習、一般検査学演習、寄生虫検査学実習、生体分析検査化学実習		
参考文献及び指定図書			
関連科目	臨床検査学演習、血液検査学実習、病理組織細胞検査学実習、一般検査学演習、寄生虫検査学実習、生体分析検査化学実習、免疫検査学実習、遺伝子・染色体検査学実習、輸血・移植検査学実習		

○基本情報		
授業の目的	1.生理学的検査(循環機能検査、呼吸機能検査、神経機能検査、感覚機能検査、超音波検査などの画像検査)を行うことができる。 2.検体検査(生化学的検査、血液検査、免疫検査、一般検査・寄生虫検査、微生物検査、輸血検査、病理組織細胞検査)を行うことができる。	
授業の概要	本科目では、大学で学んだ知識と技術を基に、実際の医療現場での臨床検査を体験しながら実習を行い、各検査部門における臨床検査技師としての基本的な実践技術及び施設における検査部門の運営に関する知識を修得し、被検者との適切な対応を学ぶ。病棟、救急等臨床の場での業務や、施設内のチーム医療の理解と、医療の一員となる責任と自覚を養い、適切な接遇マナーを身に付ける。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	臨地実習施設に一任	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。			10点
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、臨床検査学の専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。		60点	10点
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。			10点
【ディプロマ・ポリシー4】	日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。			10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
①臨地実習先の実習評価表をもとに総合的に判断します。(提出物)	
②臨地実習報告会 (無形成果)	③後日、実習
先の評価のまとめをフィードバックします。	
到達目標に対する達成	
水準の目安は以下の通りです。	
【Sレベル】単位を取得するために達成すべき到達目標を十分に満たしている。(成績評価の合計が90点以上)	
【Aレベル】単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(成績評価の合計が80点～89点)	

○その他	
① 2025年10月6日より11週間の実習を通して次に掲げる事項について臨地実習指導者による指導を受けるものとする。	
1.生理学的検査(循環機能検査、呼吸機能検査、神経機能検査、感覚機能検査、画像検査)を行うことができる。	
2.検体検査として化学的検査(生物化学検査学)ができる。	
3.検体検査として血液検査ができる。	
4.検体検査として免疫検査ができる。	
5.検体検査として一般検査、寄生虫検査ができる。	
6.検体検査として微生物検査ができる。	
7.検体検査として輸血検査ができる。	
8.検体検査として病理組織細胞検査ができる。	
9.各種検査法の目的および検査行程	
10.臨床検査の	
を説明できる。	
役割と責任について理解を深め、医療従事者としての自覚と見識を養う。	
② 実習終了後は、実習成果確認として報告会を行う。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	臨床実習（Clinical Internships）		授業コード	S010251
		担当教員	政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幸			
学修内容						
1. 臨床実習						
医療施設での臨床実習準備学修として臨床実習前総合実習を実施し、臨床実習に望むにあたり「ふさわしい知識・技能・態度」を備えているかを確認し、技能修得到達度評価を行う。						
実習終了後は、実習成果確認として報告会を行う。						
（ 2025年10月6日より12月19日の52日間）						
予習		各実習施設のスケジュールに併せて予習を行うこと				（約2.0h）
復習		毎日実習した内容をまとめ、翌日には指導者に提出すること。指導者からの指摘事項は必ず見直しを行うこ				（約2.0h）
2.						
予習						
復習						
3.						
予習						
復習						
4.						
予習						
復習						
5.						
予習						
復習						
6.						
予習						
復習						
7.						
予習						
復習						
8.						
予習						
復習						

○授業計画		科 目 名	臨床実習（Clinical Internships）		授業コード	S010251
		担当教員	政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幸			
学修内容						
9.						
予習						
復習						
10.						
予習						
復習						
11.						
予習						
復習						
12.						
予習						
復習						
13.						
予習						
復習						
14.						
予習						
復習						
15.						
予習						
復習						
16.						
予習						
復習						